

西彼杵高校「演劇研修合宿2017」



8月10日（木）～11日（金）、本校で「演劇研修合宿2017」が開催された。本研修は生徒会企画委員会演劇班が企画し、生徒会企画委員会、生徒会総務委員会、西濤祭実行委員会により運営された。生徒会関係の生徒たち、西濤祭実行委員の生徒たち、そして1・2年の各クラスの有志の生徒たちの合計63名が参加した。

初日は「クラス劇を作るために」という内容の講話を受け、その後各グループに分かれて演劇のワークショップに参加した。生徒会企画委員会演劇班の生徒たちがそれぞれのグループを受け持ち、参加した生徒たちが楽しく学べるよう工夫を凝らした指導を行った。

初日の夜に2グループ、2日目の昼に4グループが寸劇を披露した。「初めの台詞」「真ん中の台詞」「最後の台詞」が指定され、その間の台詞を創作し、発表するという寸劇だ。どのグループも独創性あふれる面白い内容で、観客の生徒たちからは笑い声が聞かれた。また、生徒会企画委員会演劇班によるエチュード（アドリブ劇）も披露された。観客は完全なアドリブの演劇を熱心に観劇していた。

参加者の一人の松井優希さんは、「参加してみて改めて演劇ってすごいなと感じた。本格的で専門的な指導をしてくださる先輩たちは本当にすごいと思う。これだけのことを企画・運営できることにびっくりした。」と感想を述べた。

11月4日（土）と5日（日）には、西濤祭（せいとうさい）が開かれる。その文化祭で1・2年生の各クラスが演劇を披露する。今回の研修で得た知識と技能を活かし、素晴らしい演劇を作り上げることに期待したい。



←（写真左）
演劇を披露するグループ

←（写真右）
裏方として照明機材と音響機材を操作するクラス有志の生徒

↓演劇班キャストの3名は指導に加え、演劇も披露した

